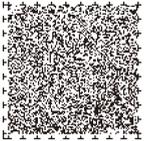


盲導犬と暮らす



盲導犬とは？

盲導犬とは、ハーネスと呼ばれる白い胴輪をつけ、視覚障害者が安全に外出する為のお手伝いをする、特別に訓練された犬です。盲導犬の利用者をユーザー、盲導犬をパートナーと呼びます。

今号の表紙写真の、相浦さんと盲導犬のニック君を訪ねました。

ニック君のことを教えてください

ニックはもうすぐ4歳になるラブラドルレトリバーの子です。2019年12月にパートナーとして直方にやってきて、もう1年が経ちました。



パートナーのニック君

盲導犬を利用しようと思っただけで、きつかけはなんですか？

以前は自分一人では外出ができませんでした。家で買いたい物があったり、買いに行きたくても、買いに行けません。ユーザーが好きなものですが、家の近くのコンビニにもヘルパーさんがいないと行

けません。そんな状況を変える為に、子どもが独り立ちしたタイミングで、チャレンジしてみようと思いました。

盲導犬を利用するようになったら、どう変わりましたか？

好きな時に外出できることがとても嬉しいです。以前は外出することが怖くて、なかなか家の外に出られませんでした。今では、自信がついて、外に出て人と関わるのが楽しくなり、毎日のように外出しています。

ニックは、家族より長い時間トナーで、家族です。

盲導犬を利用するようになったら、大変だったことはなんですか？

私も勘違いしていたんですが、盲導犬がいれば行きたいところに、連れて行ってくれると思っていたんです。でも実際は違って、道を覚えたり、曲がり角を指示したりするのは人間がやらなくてはいけなくて、盲導犬は安全に歩く手伝いをしてくれるだけなんです。なので、ニックと一緒に訓練をしています。最初のころはぶつかったり、段差に引っかけたりしていましたが、今では直方イオンや商店街に、一緒に出かけられる様になりました。

ただだけの場所が増えていけばいいなと思っています。

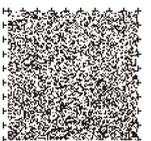
皆さんに伝えたいこと

まず、盲導犬を見かけても、急に声を掛けたり、触ったりしないでほしいことです。盲導犬の向きが変わると、どちらに進めばいいのかわからなくなり混乱しますので、ユーザーに先に声をかけてください。次に、盲導犬のユーザーが困ってほしいです。困ったら声をかけてほしいです。困ってほしいです。「盲導犬がいれば大丈夫だろう。」と思われがちですが、声をかけてもらえると助かります。最後に、盲導犬協会について2点あります。盲導犬育成事業の90%は寄付や募金で支えられています。皆様の善意で支えられた活動です。ご支援ご協力をお願いいたします。(https://www.rtda.or.jp/) また、盲導犬を利用したい人も募集しています。私も勇気を出して行動したら、生活がガラッと変わりました。少しでも悩んでいる人が居たら、ぜひ一歩踏み出してみてください。



ユーザーの相浦さん

○相浦さんにインタビューして
待ち合わせていた部屋のドアを開くと、盲導犬のニック君が横になっているマットからちよつと頭をもたげました。私と目が合ったので挨拶をすると、また頭をおろしてじつと横になりました。
「生活がスムーズに行く様に、好きな時に出かけたい。」相浦さんがユーザーを飲みたい時にも、コンビニへもニック君と一緒に「自由」に出掛けられます。このことは、当たり前のように地域で生活する基本ではないでしょうか。パートナーとして、相棒として、お互いに愛情と信頼で支え合ってゆつたりとほちほちと生活できたらいいなと私は思います。
直方にニック君が来てから1年ちよつと経ちますので、2人で歩く姿を見かけた人もいるかと思っています。2人で居る時、ニック君は仕事をしているのです。その仕事とは、相浦さんに、曲がり角、段差、障害物などを教えることです。仕事中のニック君に声をかけたり、可愛いからといって触ったりするのは禁物です。触りたい時はユーザーの相浦さんに声をかけさせてください。
話を聞かせて頂き、失礼する際に相浦さんの許可を得てニック君とハグをしたら、彼はペロペロと私の顔をなめ嬉しさを表してくれました。これからの相浦さんとニック君にYELLを。(田中)



社協だよりの、点字版・墨字版もあります。希望される方はご連絡ください。

地域 の 輪

地域に根ざした独自の福祉活動を紹介します。

一般社団法人 直方青年会議所 社協との災害時協力協定

この度、一般社団法人直方青年会議所と、直方市、宮若市、鞍手町、小竹町の社会福祉協議会は、災害が発生した場合に相互に連携し、被災者への迅速かつ円滑な物資の供給及び避難所の活動支援を目的とした協定を結びました。

公益社団法人日本青年会議所では、災害発生時における救援相互運営規程を整備し、災害発生時の緊急連絡体制や広域的な災害復旧支援体制をつくりながら、被災地の復興活動に積極的に取り組んでいます。

青年会議所は「世界との友情」「社会への奉仕」「個人の修練」の3つの信条のもと、「明るい豊かな社会の実現」という共通の目的を持ち活動しています。さらに、会員相互の啓発と交流を図り、公

相互の啓発と交流を図り、公
共心を養いながら、地域に根
ざしたまちづくり活動を行
い、より良い社会の発展に貢
献することを目的としていま
す。信条の1つ、「社会への
奉仕」では、活動の一環とし
て、行政や災害支援団体と連
携した災害に強いまちづくり
や、減災に向けた地域づくり、
災害発生時における受援力強
化に取り組んでいます。

大規模災害が発生した時に
は、一つの町の中だけでは対
応できない場合があります。
また、一つの町だけでなく周
囲の市町村に同時多発的な
被害をもたらす場合もあるで
しょう。そこで、直方青年会
議所と社会福祉協議会では災
害ボランティアセンターの設
置・運営を想定し、人的支援・
物的支援の受け入れを円滑に
行うための体制づくりを進め
ており、今回の協定は大切な

備えの一つです。災害時の対
策には、「もう十分」や「こ
れで絶対大丈夫」と言えるも
のではありません。だからこそ、
一人ひとりが自分の地域の避
難場所や経路を確認しておく
ことや、家族との安否確認方
法や集合場所を事前に決めて
おくなどの『備え』が大切で
す。直方青年会議所と社会福
祉協議会はその一人ひとりを
守り、災害時に必要な支援を
届けることができるよう、今
後もさらなる『備え』の充実
に取り組めます。



直方青年会議所の飯野理事長（中央）と直鞍2市2町の社協会長

情報 の 広 場

里親制度

里親制度とは、児童福祉法に基づき、里親として登録された方に、家庭で生活できない子どもを養育を県が委託するものです。

里親の種類

- ①養育里親（5年毎に更新）
- ②専門里親（2年毎に更新）
- ③養子縁組里親（5年毎に更新）
- ④親族里親

※登録及び更新には研修の受講が必要で

里親になるための要件

- ①心身ともに健康であること
 - ②児童養育に対する理解と愛情を持つていること
 - ③経済的に困窮していないこと
 - ④欠格事項に該当しないこと
 - ⑤国で定めた研修を受講すること
- ※親族里親は、③⑤には該当しません。

詳しくは田川児童相談所までどうぞ！

田川市弓削田188番地
TEL 0947(42)0499

3月に田川児童相談所の方を講師にお呼びして地域福祉セミナーを開きます。詳しくは4ページへ。

図書室



「家庭の事情」

著者 源氏 鶏太
発行 ちくま文庫

定年になった父親が、自分の退職金と貯金を合わせ、自分と5人の娘とで平等に6等分することに。それを元手にして喫茶店を開いた長女、お金に困った恋人に貸した次女、旅行資金にした三女、株式投資した四女、会社で高利貸しを始めた五女。そして父親は小料理屋の女に・・・。

このように、6人が6人、問題を抱えながらも、それら乗り越えていく。

ラストで、父親と5人の娘全員が、それぞれ同時に6組のカップルになるところは、現実社会ではありえないかもしれない。だがしかし、そこそが痛快来源氏鶏太の世界。現実がどうであろうともまったく違和感はないし、それどころかさわやかな読後感が残る。

(広田)

認知症相談を受け付けています。認知症に関するお悩みがある方はご連絡ください。

知るとできることがある ～児童虐待と里親制度～

『令和2年度 地域福祉セミナー』

田川児童相談所 里親・施設課の炭谷一毅さんと、吉原知訓さんをお招きします。筑豊地域の児童福祉や里親制度についてお話しいただき、私たちに何ができるか考えます。

- と き 令和3年3月20日(土)
10時～11時30分
- ところ コミュニティのおがた 会議室1・2
(直方市山部364-4)
- 参加費 100円(資料代)
- 申込み TEL・FAX・メールなど
- お問い合わせ
直方市社会福祉協議会
☎0949(23)2551



移動送迎支援事業のご紹介

移動送迎支援事業は、公共交通機関を利用することが困難な在宅の障害者や高齢者に、移動送迎の支援を行い、社会参加の促進と自立支援を行う事業です。

- 利用対象者
直方市内に在住していて、
① 手帳(障害者、療育)を持っていて、日常的に車イスや補装具を使用している人
② 虚弱高齢者(要介護3以上)で、日常的に車イスや補装具を使用している人
- 運行範囲 県内日帰り
- 利用回数 月に4回まで
- 利用時間 午前9時～午後4時30分まで
- 利用料 ガソリン代、駐車場代、高速代等の実費をいただきます。
- 利用方法 事前に登録が必要です
- お問い合わせ 直方市社会福祉協議会
☎0949(23)2551

視覚障害者が駅ホームから転落する事故が後を絶ちません。無人駅が増えましたが、ホームドアの設置が進まない現状があります。視覚障害者の方々が必要にしていただければ、声かけが必要かもしれません。声かけの要点は、「下がって」とだけ言うのではなく、誰に言ったのか分かるように「白杖の方、危険です」と声をかけることです。また、無言で急に腕や肩を掴まれるとビックリします。命を守るためにコロナ禍でも、お声かけをどうかお願いいたします。(藤田)

編集後記

「ホームヘルパー」募集

無理なく家庭と仕事を両立できます。

初めてでも、ブランクがあっても、60歳以上でも大歓迎です!

ユニフォームの支給もあります!

【現在活躍中のヘルパーにやりがい・楽しさ・働きやすさを聞いてみました】

利用者の笑顔を引き出した瞬間

お互いにシフトを助け合える

ヘルパー同士わきあいあい

休日が取りやすい

資格

介護職員初任者研修修了者(ホームヘルパー2級以上可)

活動時間

7時から21時の間(時間は相談できます)

賃金

- ・生活・家事援助(1時間) 1,100円～
- ・身体介護(1時間) 1,550円～
- ・移動手当、賞与実績あり

お問い合わせ

直方市社会福祉協議会 総務係
☎0949(23)2551

※詳細はお問い合わせください。



ご寄付ありがとうございます。

令和2年11月11日から

令和3年2月10日

4件 合計金額 70,703円

(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

香典返し寄付金

● 頓野 (故)永富 義隆

